

2023年12月19日

株式会社アイキャスト 第35回番組審議委員会 議事録

■日時： 2023年12月19日(火) 11:00~12:00

■場所： オンライン会議で実施

■出席者： 番組審議委員 板東 浩二 様 (委員長)

今別府 亮 様

植田 実 様

トム ペリー 様

アイキャスト 永田 勝美 (代表取締役社長)

荒木 孝広 (取締役経営企画部長)

高橋 佑平 (メディア戦略部 編成担当部長)

和出 誠司 (経営企画部 事業戦略担当部長)

桜庭 正樹 (経営企画部 事業戦略担当課長)

兼子 賢太 (経営企画部 事業戦略担当主任)

小林 慎一郎 (顧問)

## ■議事内容

### 1. 番組審議

#### (1) 口説き文句は決めている

- ① Z世代の男女の考え方の対比をうまく描けているのではないか。  
制作スタッフに女性が多いと聞いており、女性の細かい心理が描けていると感じた。今回の作品の制作背景について、事務局から補足があれば教えていただきたい。(審議委員コメント)  
⇒フジテレビとどういったドラマを制作していくか議論した際に、ひかり TV として今の時代を映像として映していくのであれば、この作品が適しているのではないかと提案いただいた。それに加え、男性キャストにはひかり TV 視聴者になじみの深い EBiDAN を起用することで、視聴者に入りやすい仕掛けも押さえることができた。(事務局コメント)
- ② 男女関係の参考になりそうなドラマと感じた。  
作りがすごくよく、番組の内容がすぐに古くなるようなものではないので、今後も定期的に再放送していても良いのではないか。  
食と恋愛と結び付けて一つのエッセイとしたのはとても面白いと感じた。  
「口説き文句は決めている」タイトルは非常にそそられるが、ドラマの内容とタイトルが少し一致していないようにも感じられた。タイトルを決めた背景を教えてください。(審議委員コメント)  
⇒原作のエッセイのタイトルをそのまま使用している。ドラマでは、原作の数十話あるエピソードから 5 話選んで制作しているため少し違和感があるかもしれない。事前にタイトルの変更について議論もあったが、原作が有名なため、タイトルを変えないほうが視聴者にとってもしっくりくるのではないかと判断した。(事務局コメント)
- ③ 最近は日常身近に感じるテーマのドラマのほうが流行していると感じており、このドラマもその点で共感できるテーマで流行しやすいのではないかと感じた。  
事務局としてどう感じているか教えてください。(審議委員コメント)  
⇒製作費の面で、当社が地上波のような大仕掛けのドラマを制作することは難しい。最小限のコストで視聴者の心に響くドラマの制作を考えると、身近なテーマになってくる面はあると思う。本作品では、ひかり TV 視聴者に対して、ひかり TV としての付加価値をきちんと届けられたのではないかと。(事務局コメント)

## (2) 公開直前！TVアニメ『MF ゴースト』 スタートダッシュ特番

- ① アニメと車は海外でも人気のある日本文化で、前作の「頭文字 D」も海外で人気があると聞いている。とても可能性が感じられる作品だと感じた。  
声優を使ったイベントも良く、実際にリアルイベントを開催することで海外の人を呼び込めるのではないか。(審議委員コメント)  
⇒他のチャンネルでも、車の改造番組など放送されることがあるが、ひかり TV ではそういったコンテンツの視聴率も高い。MF ゴーストは他の映像サービスでも期待値が高いコンテンツだったが、ひかり TV で視聴してほしいという思いで公開収録や特番の製作を行った結果、視聴者もそれについてきてくれたことが良かった。(事務局コメント)
- ② SNS でうまく拡散できたということだが、昨今の番組制作では普通に実施していることなのか？(審議委員コメント)  
⇒共同で制作していたアニマックスの公式 X (旧 twitter) やホームページ、MF ゴースト公式の SNS でも告知を実施。また、出演している声優の公式 SNS でも拡散したため、そこで気づいた声優ファンもいたと思う。こういった手法はポピュラーになりつつあるが、今回もその例に漏れず、最初からあちこちに仕掛けを作りながら拡散してきた。(事務局コメント)
- ③ 番組の導入が声優の歌から入ったのが良かった。声優は最近注目度が高まってきていると思うが、声優のポジショニングは昔と比べて変わってきているのか？(審議委員コメント)  
⇒アイドルのような存在になってきており、アイドル並みの SNS フォロワー数を持つ人気声優もいる。今回の公開収録の応募者の中にも、我々が想定していなかった若い女性などが散見された。これは出演声優に紐づいて応募された方と思われる。体感として 2 割程度が声優ファンだったのではないか。最近の声優は海外人気もあり、SNS の配信を通じてグローバルに広がっている。そういう意味ではキャストもイベント成功の要因の一つだったと考えている。(事務局コメント)